



ふんしんびりし

白山市国際交流協会 Hakusan International Association

No.12

2011年10月発行

地域の日本語教室に求められるもの



ここ数年、日本人と外国人が交流を通してコミュニケーションを図り、相互理解を深めながら日本語を習得していく「交流型」日本語教室の活動が各地で始まっています。これは、学習者に対して、教科書を基に指導していくという活動のほか、教室内でのやりとりを通して自発的な会話を促し、生活に直結した日本語を習得できる新たな手法として各地で取り入れられてきているものです。どちらもその役割と良さがありますが、地域の日本語教室が、地域の国際化・多文化化の最前線にあるということを考えるならば、文化や価値観の異なる人たちが、コミュニケーションを通して、他者との違いや共通点を理解しあう空間を創出することは、とても意義があると考えられることから、サロンでもこの交流型の取り組みを行っていきます。



日本語教室が行われている市国際交流サロン(古城町)

C・O・N・T・E・N・T・S

■特集 地域の日本語教室に求められるもの……………	1～2
■H.I.A.だより……………	3
■H.I.A.トピックス……………	4
■シリーズアメリカ・ヒューストン奮闘記……………	4
■国際交流サロンのページ……………	5
■JETのひろば……………	6
■JICA現地レポート……………	7
■H.I.A.からのお知らせ……………	8

国際交流サロン 日本語教室メモ (H23. 9月末現在)

- クラス数 25クラス
- 登録日本語ボランティア 44名
- 現在の外国人学習者：13ヶ国・地域の81人
- 学習者国別人数上位3
中国人 51人、ベトナム 11人、インドネシア 5人
- 学習者の内訳
実習生・研修生 43人、国際結婚(妻) 20人、留学生 4人、ALT 3人、JICA研修生等他 11人

市国際交流サロンの日本語教室に通う外国人皆さんの目的はさまざまですが、生活者として、周囲の人と心通わせる会話をできるようになりたいという気持ちは共通のようです。

“日本語教室に通う目的は何ですか？” 来館外国人市民にインタビュー



**ホアニー
キンタナさん**
(メキシコ出身、
JICA 研修生)

日常生活のために

日常生活をスムーズに送るために言葉は大切です。特に、人に何かをお願いする時、尋ねる時、買い物をするなど。そして、日本にいる間に日本人と友達になりたいです。メキシコと日本は文化などが違いますが、同じ部分もたくさんあります。そんなことを話したいです。



山口デージーさん
(ブラジル出身、定住者)

学校のお便りが読めるように

もっと会話が上手になりたいです。難しい漢字がわかりません。子供の学校のお便り、市役所からの通知、料金表など読めないと困ることが多いのでそれを読めるようになりたいと思っています。

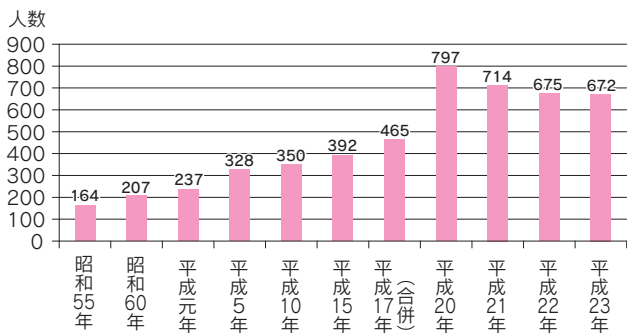


樊 高峰さん
(中国出身、企業実習生)

職場での会話がうまくなりたい

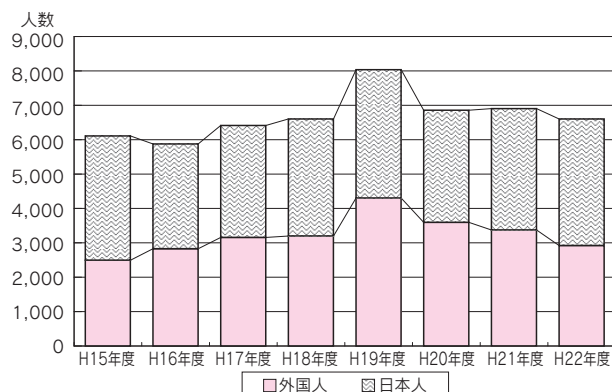
職場で上司や同僚とのコミュニケーションがもっとうまくなりたいです。また、なかなか自分のいいたいことが言えないので、うまく言えるようになりたいです。サロンでは、人と話ができ楽しいです。

❖ 白山市外国人登録者数推移 ❖



数字は各年12月末。ただし、平成23年は9月末
合併前の数字は、旧市町村における外国人数の合計数
石川県全体の外国人登録者数は、11,215人(平成22年12月末)です。

❖ 国際交流サロン年間利用者数推移 ❖



平成14年12月のオープン以来、来館者は毎年6000人を超えています。

多文化共生を学ぶ講演会と交流型日本語教室ワークショップ開催

8月27日、「地域における日本語教室の新しい役割」と題して講演会を行いました。講師には、金沢大学人間社会学域教授の深澤のぞみ先生をお迎えし、会場の市民交流センターで、約40名の市民が講演に耳を傾けました。

講演のなかで深澤先生は、「これまでの文法や文型が中心に捉えられ、正確さが重視された日本語教室から転換し、生活者としての外国人が、地域社会に根付き、コミュニティの一員として孤立せず、かつ自立した生活を営めるようになるための日本語教育を提供することが求められている」と話し、その一つの手法として、会話を重視した交流型教室や新しい考え方の教材について紹介されました。

交流型教室は地域住民同士の交流を目指したものであり、「地域の日本語教室」は、多文化共生社会への参加につながる場であることが求められていると締めくくりました。



講演会后、参加者は交流型日本語教室を体験しました。



地域の日本語教室の役割について話す深澤教授

H.I.A. だより

第9回イギリス・ボストン町中学生ホームステイ交流受入

7月15日～26日（11泊12日）

日付	内容
7/15	対面式
16	ホスト家庭主催イベント
17,18	ホストファミリーデー
19	美川中訪問
20	美川小訪問 市長表敬訪問 太鼓ワークショップ
21	あかね保育所訪問 文化体験
22	山麓自然体験
23	芝政ワールド
24	瀬女コテージ宿泊
25	さよならパーティー

※翌朝、お見送り

イギリスボストン町から中学生14名と引率者2名が白山市を訪れ、昨年ボストン町を訪問した生徒と1年ぶりに再会しました。あつという間の12日間のホームステイ、夏の楽しい思い出がたくさんできました。



文化体験で浴衣を着て、茶道を体験しました。皆さんとても似合っています♪



あかね保育所で子供達と交流をしました。みんなで一緒にダンスを踊りました♪

瀬女コテージでの集合写真。サプライズで誕生日のお祝いや、肝だめしをして楽しみました。



第3回中国・溧陽市中中学生ホームステイ交流受入

8月1日～9日（8泊9日）

日付	内容
8/1	市長表敬訪問
2	消防本部見学 松任中訪問
3	美川中訪問 金城大学訪問 太鼓体験
4	金沢市内視察 対面式
5	鶴来中訪問 交流パーティー
6	ホストファミリーデー

※翌朝、お見送り

中国溧陽市から中学生10名と引率者3名が白山市を訪れ、市内3中学校を訪問し、さまざまな部活動の見学・体験を行い、交流を深めたほか、3泊のホームステイも体験しました。

松任中学校の剣道部の皆さんと。練習の様子を見学した後、実際に竹刀を握って剣道を体験してみました。迫力のある剣道の試合にきぎ付けてした！



鶴来中学校の柔道部の皆さんと。握手をしてお互いの親睦を深めました。柔道の投げ技にも挑戦しました。



浅野太鼓にて、太鼓体験！皆さん一生懸命楽しそうに太鼓を叩いていました♪

第24回 JAPAN TENT

8月18日～21日（3泊4日）

日付	内容
8/18	対面式
19	山麓自然体験 クラフト工芸体験
20	ホストファミリーデー

※翌朝、お見送り

31ヶ国54名の留学生が、43家庭のホスト家庭宅にてホームステイを行いました。留学生の皆さんは日本語が上手で、積極的にコミュニケーションをとる姿が印象的でした。ホスト家庭の皆さんとも馴染み、家族の一員となっていました。留学生たちのパワーに元気をいただきました！

もう家族同然です。なかよし♪



ちぎり絵でうちわ作りを体験。うちわの裏にはそれぞれ思い思いの素敵なメッセージを書きました。皆さん大変上手に出来ました！



前日の雨で水量が増したつげヶ滝では、皆さんテンションがとても高く、自ら川の中に入って楽しんでいました♪

米国コロンビア市コスモポリタン公園

姉妹都市コロンビア市にあるコスモポリタン公園には、旧松任市が贈った“Cherry Grove”（桜の森）があります。これは、平成6年、旧松任市が、両市の姉妹都市提携5周年を記念して、コロンビア市へ桜の木の目録を贈呈したことにより、整備がスタートしました。最初に植樹した桜の木々は、すでに15年以上経過しており、毎年美しい花を咲かせ、コロンビア市民の憩いの場となっています。この度、同市では、昨年急逝された角前市長の功績を称えて、メモリアルツリー（記念樹）として、吉野桜を含め3本の桜の木を新たに植樹することを決めました。



前市長の故角氏を偲ぶ桜の木と新たに設置された白山市案内板



Trees to honor Japanese mayor

Sister-city ties are affirmed at event.
The celebration of the 50th anniversary of the sister-city relationship between Columbia, Mo., and Maunabo, Hawaii, was held at the Cosmo Politan Park in Columbia, Mo., on Friday, May 16. The celebration of the 50th anniversary of the sister-city relationship between Columbia, Mo., and Maunabo, Hawaii, was held at the Cosmo Politan Park in Columbia, Mo., on Friday, May 16. The celebration of the 50th anniversary of the sister-city relationship between Columbia, Mo., and Maunabo, Hawaii, was held at the Cosmo Politan Park in Columbia, Mo., on Friday, May 16.

5月に行われた植樹式の記事（現地新聞より）

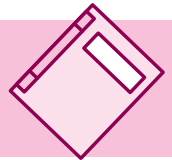
5月16日には、かつて中学生ホームステイ交流プログラムに参加したことのある現在高校生の生徒6人とこれまでの引率教諭、市関係者らが集まって、植樹式を行いました。木の下には、角前市長の在職期間や座右の銘が書かれたプラークが埋め込まれました。また、新たに白山市を紹介する案内看板も、同時に設置されました。

担当する市職員のレナー・グラハムさんは、「ホームステイ交流は残念ながら、現在休止中ですが、2008年、休止が決まった時、角市長は、別の方法で友好関係を維持しようと提案されました。私たちは彼が亡くなった時、その言葉を重く受け止め、彼の桜の木を記念植樹することを決めました。これをきっかけにもっと友好関係を大切にしていきたい。」と話しています。



シリーズ アメリカ・ヒューストン奮闘記③

ヒューストン日本語補習校 校長 中島 満先生



3月11日の東日本大震災の報道は、米国でも大変大きなニュースとして報道されました。その被害の甚大さは、特に日系人や日本人駐在員に言いようのない衝撃を与えました。4月に入ってまもなく、中学生の代表が校長室を訪れ、「募金活動やドネーションをしたいので、許可をしてください。」と申し入れてきました。このような善意の行動は、生徒からの自主的な発動を受け、教師の適切な指導の下に展開されてこそ価値あるものだと思っていましたから、即、担任教師を呼び、生徒と教師が一体的に行うよう活動計画を立てました。この活動は募金と洗車、ドネーション（クッキーなどを焼いて販売）の3つの形がとられ、3週間に亘り、土曜日の登校時と下校時に行われました。全活動時間は6時間ほどでしたが、募金等の総額は3,276ドルにもなりました。子供たちは、自分たちの募金は、原発事故で大変な状況にある福島県の子供たちに役立ててほしいとの願いを私に申し出ました。そこで、私は、丁度、健康診断等で一時帰国をすることにしていたので、生徒たちに「必ず君たちの気持ちを届けよう」と約束をしました。

そして、7月の一時帰国の際、ドルを円に換金し、生憎の円高と手数料などで255,888円となりましたが子供たちの

善意の募金と、励ましの色紙5枚を携え、往復1000kmの福島県教育委員会へ向かい、しっかりとこの手で届けてまいりました。晴れやかな子供たちの顔が浮かびました。

補習校の子供たちは、とても元気で行動的です。想像力も豊かで思いやりの気持ちがいっぱいです。やがて、日本や世界を舞台に活躍するであろう彼らは、この募金活動を通して、日本を思う気持ち、人を思いやる気持ちが一層高まったことと思います。



教師や迎えに来た保護者の車を洗車し、義援金を集める補習校の生徒たち

プロフィール：アメリカテキサス州ヒューストンにある日本語補習校（生徒350余名）校長。鶴来中学校校長を定年退職後の平成21年3月、文部科学省シニア派遣教員として着任。2年の任期でしたが、現地の要望により1年延長され、来年3月まで着任予定。白山町出身。

白山市国際交流サロン利用ガイド

開館時間	午前9時～午後6時
休館日	月曜日(祝日の場合はその翌日)、12月29日～1月3日まで
場 所	〒924-0872 白山市古城町2 (学習センター向い、松任文化会館横)
TEL/FAX	274-3371
E-mail	misalon@asagaotv.ne.jp http://www.asagaotv.ne.jp/~misalon/

日本語講師スキルアップ塾－石川県国際交流協会出前講座をスタート

旧松任市でボランティアによる日本語教室ができて20年。「教える場」の日本語教室から「お互いに学び合う場」にと地域の日本語教室は変わりつつあります。「交流型授業」ってどんなこと?どんな教室?と、石川県国際交流協会主催の出前講座を利用して、サロンでは、関心のある日本語ボランティアの皆さんが只今勉強中です。9月から始まった4回の出前講座には、日本語ボランティアや協会員のほか、実践のため外国人学習者も協力参加してくれています。

活動は、学習者とボランティアが交ざった小グループに分かれ、毎回違ったテーマで活動していきます。病院の内科問診票を使いながら、ドクターに症状を訴える

会話場面や、体の一部を使った慣用句の表現練習(頭にくる、耳が痛いなど)また、ある時は、家族を紹介する場面では、家族や家系

図を用いて必死の紹介。教材は、教科書とは限りません。そして、90分授業の最後の30分は今日学んだことの振り返りの時間です。教材の資料にボランティアたちが書き込んだメモやノートで復習です。参加した外国人も、「役に立つ言葉なのでためになった。」「でもちょっと難しかった」「たくさん言いたいことがあるけれども、話せないのが悔しい」の感想。実は、この「もっと話したいのに思うように話せない」の気持ちが大事。それを手助けしていく作業が交流型授業の極意だそうです。一方ボランティアの皆さんも、戸惑いながらも、回を重ねるごとに少しずつ手応えを感じつつ、これからの教室に取り入れ、より学習者が必要とする日本語をと自らの指導法を見直す良い機会となっています。



▲少し戸惑いながらも楽しそうに参加する外国人学習者たち



▲出前講座の最後の1時間は県国際交流協会日本語講師の今井先生と星先生による振り返りが行われ、交流型授業のポイントを学びます。

出前講座に参加している日本語ボランティアの感想

- 違うやり方ふれて良かった。一番知りたいのは勉強に来ている人がどう思っているか?どのテーマを選ぶかが大事
- 「やりとりを大切に」「あらゆるものを使って立体的な教室を」この2つが特に印象に残りました。
- 「教えない」教室・・・共に楽しむ時間作りができたらしいなあと感じています。
- 気軽に参加でき、様々な交流が生まれる心地よい教室を目指して、私自身今後も楽しく活動していきたいです。
- 交流型の授業は簡単な様で難しいと思いました。雑談をしながら話しやすい状況に持っていく。雑談から大事な語彙や表現を拾い出し教える。教えるというより共に学ぶ姿勢が大事なんですね。慣れない授業ですが取り入れていけたらと思います。

友だちの輪 (外国人市民を紹介するコーナーです)

工藤イルマさん (東美沢野町)

私はフィリピンから来て3年以上たちました。日本人と結婚して2才の子供がいます。子供には日本語と英語を教えるようにしています。それを知ったこちらのスタッフの紹介で日本の子供に英語を教えることになりました。英語も子供も大好きなので、日本語を勉強しながら英語を教えられるのでとてもいいです。なぜなら英語を教えることは、私の喜びなので。



サロンで小学生に英語を教えるイルマさん(右端)

サロントピックス

「お箏を楽しむ会」

月1回の日曜日、協会ボランティアとして箏曲の指導をしてくださっている川畑康子先生のお箏レッスンの会。

同会は、平成16年からスタートし、これまで多くの受講生が発表会にも出場しています。今回新たにALTお2人が加わり、現在、5名の受講生の皆さんが、楽しくレッスンに励んでいます。

JETプログラムで、この度、5名の新しいALT（外国語指導助手）が白山市にやってきました！
3名の先輩ALTと共にご紹介します。

NEW ALTs

イングリッド・フィッシュ Ingrid Fish

- ①オーストラリアNSW州クラジョン市（ペンリスの近く。緑がいっぱい）
- ②和紙、折り紙、藍染めなどのクラフト。好きな場所は大阪。日本の音楽とドラマが好き。
- ③嵐（嵐の大ファンです！）
- ④たくさんの友達を作りたい。
- ⑤できる限りの日本を見て、日本に友達をたくさん作りたいたいです。

Interview インタビュー

- ①出身地（出身地の自慢）
- ②日本の好きなもの
- ③好きな言葉・格言
- ④白山市での抱負
- ⑤将来の夢・抱負



左から、イングリッド、グレーム、イーマン、ブリタニ、メーガン

メーガン・ケスター Meghan Koester

- ①アメリカ・ワシントン州シアトル市（コーヒー、マイクロソフト、マリナーズ）
- ②日本史と絵と日本語です。
- ③カタカナ英語が好きです。たとえば、タコス、トマト、バナナ・・・
- ④日本語がペラペラになりたいですが大変すぎるかもしれません。日本語はとても難しいです。
- ⑤アメリカで外国人のための英語教師になりたいです。

グレーム・ネイサン Graeme Nathan

- ①カナダ・ブリティッシュコロンビア州ビクトリア市（おいしい食べ物屋さんがある）
- ②お好み焼き、焼肉、いきものがかり、花火が大好き。
- ③"Tear your thoughts away from your troubles, by the ears, by the heels, or whatever means necessary"-Mark Twain.
- ④日本語や日本文化のことを学びたいです。
- ⑤小説と映画を書きたいです。

イーマン・ナスラット Eman Nassrat

- ①カナダ・オンタリオ州オタワ市（首都で国会議事堂がある。）
- ②好きな有名人はヤマピー。うどん、お寿司が大好き。日本のバラエティー番組が一番だと思います。
- ③"That's nice."（英語）"Genki"（日本語）
- ④日本について学びたいです。茶道を学び、他の日本の習慣を学びたいです。
- ⑤少なくとも4ヶ国語を話せるようになって、世界をつなぐ手助けをしたいです。

ブリタニ・クロウフォード Brittani Marie Crawford

- ①アメリカ・ミズーリ州レバノン市（コロンビア市の近く。きれいな森と川）
- ②アニメとポケモンと日本映画が大好きです。
- ③"ichinichi juu"（いちにちじゅう）
- ④日本語が上手になることと、日本の伝統アートを学びたいです。
- ⑤ビデオゲームの美術をしたいです。

先輩 ALTs

デイヴィッド ・マーシャル

David Marshall
(2年目)



- ①アメリカ・ニュージャージー州ローレルスプリングス市（ブルーベリーが有名）
- ②まんじゅう、お好み焼き、キロロ、世界のナベアツ
- ③我が生涯に一片の悔いなし
- ④白山市の子供に英語を教えたくて、子供の考え方を広げたいです。
- ⑤教師がバスケの監督になりたいです。

コリー・タケウチ

Cory Takeuchi
(3年目)



- ①アメリカ・ジョージア州アトランタ市（南部の音楽と食事）
- ②日本の料理が大好きです。寿司、焼肉/鶏、居酒屋のものが好きですが、日本で一番好きなことは安全です。日本は安全な国だと思う。
- ③一期一会
- ④今年はもっと日本の文化を勉強したいと思っています。特に弓道を勉強したいです。
- ⑤今を生きる

キャサリン ・ロバートソン

Kathleen
Elizabeth
Robertson
(3年目)



- ①イギリス・リンカンシャー州グランザム市（サッチャー元首相の出身地）
- ②抹茶、茶道、書道、琴、寿司、Ken Watanabe
- ③"Aim for the moon, even if you miss, you'll still fall amongst the stars."
- ④たくさんの友達と思い出をつくること。生徒たちの手助けをすること。
- ⑤大学院修士課程に進み、科学捜査の研究をしたいです。

《活動中》



隊員名：小堀香奈さん(千代野東四丁目)
派遣国：ウガンダ
職種：音楽
派遣期間：2010.7～2012.7

ウガンダに来て1年が過ぎました。ウガンダ人が私をびっくりさせようとして出してくる食用のバッタを、驚きもせずパクパク食べる私を見て、逆にウガンダ人がびっくりするのを見て楽しんでいます。活動では、壊れていたキーボードがディレクターの協力により修理してもらうことができました。生徒たちは歌が大好きなので、アカペラでも即興で机を太鼓のようにして叩きながら歌ってくれますが、やはり伴奏つきだと気合いの入りが違い、学校の外まで聞こえるくらい盛り上がり、隣のクラスの先生に怒られてしまうこともしばしばあります。また同期隊員がピアノを分けてくれたおかげで、ピアノでの演奏指導をしています。初めて見るピアノに子供達は興味津々！

最近はピアノを持っていくだけで、歓喜の雄叫びがあがります。

常に全身で感情の表現を行う現地の子供達に毎日元気をもらい、クラスで一番授業を楽しんでいるのは、もしかして私なのかもしれません。



ウガンダの子供達にピアノを教える小堀さん(右奥)

《任期終了》



隊員名：柴田千尋さん(橋爪町)
派遣国：エチオピア
職種：助産師
派遣期間：2009.9～2011.9

◎2年間の活動で得たものは？

現地の人たちとともに生活し、一緒に考え、同じ経験をし、同じものを食べ、一緒に仕事をして、日本での生活だけでは経験できない多くのことを体験し、学ぶことができました。

これまで、自分の中では比較する対象が日本でのものしかありませんでしたが、言葉、環境、宗教、食事、価値観等多くのことが日本とは異なる世界で生活して、自分の視野、考え方、とらえ方が広がり、プラスになったものが多いと感じています。言葉の面でぶつかり多くの場面つまずくこともありましたが、無事、任期を終了することができたこと、また、大きく体調を崩すことなく元気に過ごすことができたことは、周囲の助けがあったからだと思います。周囲の助けがあつてこそ、自分が存在するということに気づけたことが、自分にとっては大きなことでした。

《活動中》



隊員名：落合 真さん(千代野南二丁目)
派遣国：カメルーン
職種：放送
派遣期間：2011.6～2013.6

私が派遣されているのは、アフリカのカメルーン西部州にあるフンバンという街です。フンバンには昔のバムーン王国の王様(スルタン)が君臨していて、昔ながらの儀式や風習が残っています。到着した時に感じたことは、とにかく「寒い」。フンバンは標高が高いため、日本の秋のような気候なのです。「アフリカ=暑い」というイメージのせいで長袖を一枚しか持っていかなかったため、初日の朝は寒さに震えながらの出勤となりました。

私が働いているところは地域のコミュニティラジオ局とケーブルテレビ局。小さいながらも、フランス語、英語、バムーン語、ティカ語などを用いて、ニュース、トーク番組、音楽番組などの多彩な放送内容となっています。まだ赴任して二ヶ月。試行錯誤の日々ですが、少しずつ前進していきたいと思っています。

※他にも、現在、青年海外協力隊員として長原亮さんがルワンダで、シニア海外ボランティアとして中田勝之さんがペルーで活動されています。

《新たに、9月に赴任された派遣隊員の皆さん》



隊員名：佐戸めぐみさん(湊町)
派遣国：エチオピア
職種：体育
派遣期間：2011.9～2013.9

今までで出逢った方々全てに感謝し、その恩返しとしてエチオピアの子供たち含め地域の皆さんのために貢献していきたいです。



隊員名：原 加世子さん(上安田町)
派遣国：スリランカ
職種：コンピュータ技術
派遣期間：2011.10～2013.10

スリランカはIT大国のインドに地理的に近く、ITが発展する可能性は大きいと思っています。少しでも力になれば良いと思っています。



隊員名：松田朋美さん(北成町)
派遣国：ガーナ
職種：感染症対策
派遣期間：2011.9～2013.9

看護師としての経験をいかして、現地の方々の役に立てるような活動をしたいと思います。



9月、出発にあたり、市長表敬訪問を行った佐戸さん、原さん、松田さん(左から)

H.I.A.からのお知らせ

白山市国際交流協会部会制を準備中

協会事業を会員の皆さんといっしょに“企画段階”から行う“部会制”について、来年度の導入に向け、現在準備中です。

事業の企画や運営に関心のある方は、ぜひ、部会に参加をお願いします。

国際交流サポーター募集中

より広く市民参加の国際交流活動を促進するため、「国際交流サポーター登録制度」を設けました。これは、市民の方の特技、専門等の分野を登録し、市や協会事業への協力を依頼する人材登録です。また、他団体から依頼があった場合にも、ご紹介させていただくことがあります。登録のご協力をお願いします。

- ①ホームステイサポーター ②通訳翻訳サポーター
③日本語サポーター ④日本文化サポーター ⑤外国文化サポーター

■問い合わせ＆申し込み：国際交流課(TEL：274-9520)
または市国際交流サロン(TEL：274-3371)

第9回オーストラリアペンリス市高校生ホストファミリー募集

今年来日する予定であったオーストラリアペンリス市の高校生一行は、来年(平成24年)4月に来市を希望しています。そこで、10泊11日のペンリス市高校生を受け入れてくださるホストファミリーを募集します。

- ホームステイ期間：平成24年4月の上中旬の10泊11日
■申し込み・問合せ先：国際交流課(TEL：274-9520、E-mail: toshikouryu@city.hakusan.lg.jp)まで

第17回国際フレンドシップアート展 テーマ：『わたしの住むところの自慢』

白山市の小学生と、親善友好都市等の子供たちの絵画作品を一堂に展示します。白山市のほか、藤枝市、アメリカ・コロンビア市等本市の友好都市5都市のほか、今年は、本市出身で現在、JICA隊員としてアフリカに赴任中の小堀香奈さんの協力を得て、ウガンダ、スーダンの子供たちの絵画も特別出展されます。

会期	会場
10月21日～11月1日	広陽小学校
11月3日～11月10日	白峰小学校
11月12日～11月20日	松任図書館
11月23日～12月1日	美川コミュニティプラザ
12月3日～12月12日	レッツホール つるぎ
12月14日～12月26日	市民交流センター

※来年の1月以降は、作品の出展のあった鳥越小、湊小、千代野小及び東明小にて、巡回展示します。

E-mail登録にご協力をお願いします

会員の皆様へのイベントのご案内等通信手段の迅速かつ合理化を図るため、E-mail登録にご協力をお願いします。

広報誌「ふれんどりい」はこれまで通り、郵送いたします。

なお、申し出のありましたE-mailアドレスについては、その他の目的には使用いたしません。

■Email登録先：misalon@asagaotv.ne.jpへ、ご住所、お名前の明記とE-mail登録希望と書いて、送信ください。

おしゃべりサロン—好評開催中

(今後の日程)

- 10月29日イーマン・ナスラットさん(カナダ出身)
○11月5日イングリッド・フィッシュさん(ペンリス市出身)
○11月12日工藤イルマさん(フィリピン出身)

■時間はともに午前10時～11時30分

■参加費：100円(会員)

■場所は市国際交流サロン(サロンへ申込要)

世界の料理教室—参加者募集

普段使いの食材で、ご家庭で簡単に作れる料理です。ぜひ、ご参加ください。保育室あります。(予約要)

【ペルー料理】

■日時：11月22日(火)午前10時～午後1時ごろ

■場所：美川文化会館調理室

■メニュー：サルサソースの焼き肉、じゃがいもとツナの洋風煮ほか

■講師：宮川マリッサさん

【韓国料理】

■日時：11月30日(水)午前10時～午後1時ごろ

■場所：鶴来保健センター

■メニュー：キムチ鍋、チヂミ、ナムル

■講師：ミン フンキさん

■参加費：各400円(協会員)、600円(非会員)

■定員：各25名(申し込み順)

■持ってくる物：エプロン、三角巾、手拭きタオル

■申し込み：市国際交流サロン(TEL：274-3371)

世界の絵本読み聞かせ—中国の絵本

■日時：11月5日(土)午後2時～2時30分

■場所：松任図書館読み聞かせルーム

■読み手：楊一林さん(金沢大学留学生)

どなたでも参加できます。お気軽にどうぞ。

年忘れ！国際交流の集い2011〈事前通知〉

■日時：12月11日(日)午前11時30分

■場所：サンライフ松任

〈ボランティアスタッフ募集〉

集いの内容をいっしょに企画して下さるボランティアスタッフを募集しています！ご協力をお願いします。

■申し込み：市国際交流サロン(TEL：274-3371)

編集後記

暑い夏が過ぎ秋の陽気になりました。今年の夏のホームステイ交流は運良く天候に恵まれることができました。何事も初めての私にとって、特にジャパンテントでの留学生達の意欲の高さ、ノリの良さには仕事とは思えないほど楽しませていただきました。さて、現在、市国際交流協会は、協会の独立に向け少しずつ動き出しているところです。時代のニーズにあった運営、事業など、新しいことが多く奮闘しておりますが、これからさらに力を入れてまいりますので、皆さまのご支援よろしく申し上げます。(A.K)

発行 ■白山市国際交流協会(Hakusan International Association)
事務局/白山市役所観光推進部国際交流課
TEL 274-9520 FAX 274-9546
E-mail: toshikouryu@city.hakusan.lg.jp